

宮城県感染症発生動向調査情報(第40週)

宮城県【平成25年10月10日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.9.30 ~ 10.6 ・ 第40週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第37週	第38週	第39週	第40週
水痘	1 0.20	6 0.60		2 1.00	3 1.00	2 0.40		14 0.54	28 0.48	2,634	→	→	→	○
流行性耳下腺炎		2 0.20	1 0.20		2 0.67		4 2.00	2 0.08	11 0.19	881	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	11 2.20	14 1.40	4 0.80	11 5.50	11 3.67	1 0.20		47 1.81	99 1.71	12,692	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	28 5.60	38 3.80	21 4.20	4 2.00	5 1.67	12 2.40	4 2.00	76 2.92	188 3.24	3,737	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑			1 0.20		3 1.00			11 0.42	15 0.26	495	→	→	→	
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	4 0.80		4 1.33	5 1.00	2 1.00	15 0.58	35 0.60	1,479	レ→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	1 0.20	15 1.50	3 0.60		4 1.33			17 0.65	40 0.69	2,013	◎→	◎→	○→	レ
インフルエンザ						1 0.13		1 0.02	2 0.02	15,682	→	→	→	
咽頭結膜熱								3 0.12	3 0.05	679	→	→	→	
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	130	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	9 0.90	3 0.60	5 2.50	2 0.67	15 3.00		17 0.65	59 1.02	3,871	○→	○→	○→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		3 3.00	1 1.00				5 5.00	2 0.40	11 0.92	727	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	6 0.60	4 0.80	6 3.00	4 1.33	5 1.00		17 0.65	43 0.74	695	○→	○→	○→	○
拡張疾病			3 4					10 3			：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
マイコプラズマ肺炎(小児科)			3 4					10 3			【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
川崎病	1													
不明発疹症								4						

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
4類感染症: 報告なし
5類感染症: アメーバ赤痢
- ※男児、女児は6歳未満
- 仙南管内 男性1名、女性1名
栗原管内 男性1名
登米管内 女性2名
石巻管内 男性1名
仙台管内 男性2名、女性2名
- 仙台管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙南管内 女性1名
- 仙台管内 男性2名
- 仙台管内 女性1名
バンコマイシン耐性腸球菌感染症
仙南管内 女性1名
風しん
仙台管内 男性1名(第39週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]
仙南、塩釜、大崎、栗原、仙台管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第38週採取分 (9.16～9.22)	第39週採取分 (9.23～9.29)	第40週採取分 (9.30～10.6)
RSウイルス	3件	1件	0件

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】平成25年6月30日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	103(1)	72(3)
全国	15,266(294)	6,970(146)

()内は平成25年4月1日～平成25年6月30日分の報告数である。
国立感染症研究所・感染症情報センター IASR2013年9月報より

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第38週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.74)、島根県(0.26)、静岡県(0.09)である。RSウイルス感染症: 報告数は3,377例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(1.83)、佐賀県(1.61)、長崎県(1.32)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.95)、長野県(1.38)、福井県(1.36)である。感染性胃腸炎: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(6.53)、島根県(5.83)、熊本県(4.78)である。水痘: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.47)、島根県(1.09)、福井県(1.05)である。手足口病: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(9.23)、北海道(8.84)、岩手県(5.35)である。伝染性紅斑: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(0.52)、岩手県(0.20)、新潟県(0.13)である。百日咳: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.16)、沖縄県(0.12)、広島県(0.06)である。ヘルパンギーナ: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(1.95)、北海道(1.83)、青森県(1.71)である。流行性耳下腺炎: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(2.09)、高知県(1.00)、福岡県(0.58)である。マイコプラズマ肺炎: 報告数は減少した。都道府県別の上位2位は青森県(1.17)、宮城県(1.17)、佐賀県(1.00)である。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。